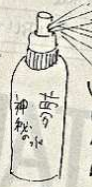
スタッフの声

けんやです。

商品のCMぽくなりますが、あまりにビックリした事があったので書いてみます。
私は食事の際に白米ごはんではなく、玄米ごはん《それも発酵させた状態のごはん"三"酵素玄米ごはん》を食べています。
新潟駅南の『自分発芽』のランチにもお出ししています。
そして、それを炊いて保温も超高圧の玄米炊飯器を使っているのです。……玄米の本当のおいしさが味わえますヨ!!
いつもの事なのですが、その炊飯ジャーのふたを開けてごはんを食べようとした所、なんとごはんの上にそれ以外の物が入っているではありませんか!(その日は家内が出かけていたので)
『これをお昼に食べなさい。』という事だと思い食べました。
それは、笹だんごとプチデジさんのコンプレハロンが1個プラスされていたのでした。それはそれは「ふかふかもちもち」して本当おいしかったのです。こんな使い方が出来るとは!
おどろきの体験でした。「そんなの当然。」って思う方もいらっしゃるかもしれませんが、私の脳はそうじゃありませんでした。

残暑お見舞い申し上げます。



最近いらっしゃるお客様の手に「シュッシュッ」しまくっています。手をコネコネしてもらうと、不思議なことにヘタヘタとした粘りがでてくんです。これこそが、水に油を溶かしこむ「界面活性力」なのだそうです。体内の脂や油溶性の毒素などを洗い流すことを考えると界面活性の高さも「水」の良さをはかる指標のひとつなんですね…。
またこの水は「生命を育む羊水に近い水」といわれ、切り傷・やけど・虫さされなどにシュッシュすると、驚く程キレイに治ります。
西田では、そこにQパワー(塩)もかけ海水くらいのしょっぱさのモノをつくっておきます。水虫に悩んでいた叔母はとってもスッキリして来た!!と喜こんでおります。これはお客さまから教えていただいたコトです。私は湯上りに一滴に、口にシュッシュしています。(^^)

やっと、と落ち着きました。
新しく会員になっていただいたお客様にちょっとしたプレゼントで、コースター、巾着、ふくろう、などなど、を作ってきましたが最近は追われてれいろさんの大事なキルト入賞記念のハギレを"バンバン"使っていました。
それでは申し訳ないと。
考え〜〜〜て「しおり」を作ってみました。
れいろさんが書いたハーブの絵に久留米絣のリボンを付けて。

大満足です!!
本好きのうもよろこんだら。

なにげに見た庭。朝はあんなに元気に見えた葦の葉。予気に見た時に、しゅんとなっていて、あ——あ、大変、水を、と思いましたが、日中にはどうかと明朝早くにと、そのまま。
水をあげながら、すごい庭だなーぼうぼうにのびた草もすこしかり。そういえば、今年も、せみのなき声がすごくて、夜遅くまで、うるさいというほどそんなことを思いながら、むくげの木の下、草には、せみの抜けがら、なんとあつめてみると、84個。
今は、秋の虫の声が朝早から夜遅くまで、ふりゅうというのではなく、夏になるとかがいやでも耳からはなれない庭・草ぼうぼうですが、季節を感じている今日この頃です。

松本

ようやく買いました。
長い間お金を探してまで
せっかく買うのだから
使い勝手の良いシンプルな
ものと選ぼうと思っていました。
今までは見に目重視、使い
ごこちは後まわしって感じで
衝動的な買い物をしていた様に思います。
今回は何度か足に行き
考えながら選びました。
日に何度も使うたび
ささやかな幸せを感じながら
過ごしています。
間に合せに使っていた今までのお盆はきっぱりと処分いたしました。
これがさらに気持ち良い

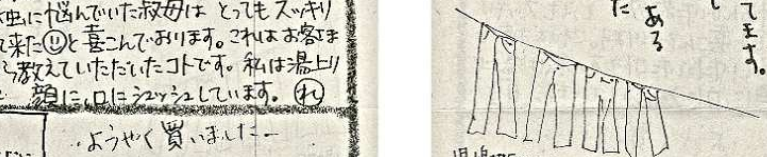
若狭田

JR 岡山 おかやま Okayama
←しんくらしき　あいおい→

MOMOTARO JEANS

よく見ると桃から生まれた桃太郎もジーンズをはいているタグ(^^)

いつの頃からか、私の目指すところはアメリカの文化であるジーンズと久留米絣のコラボ。
もともと藍染めであることや綿素材にも心ひかれてます。
身近かな衣を通して一文明の進歩と共に置き去りにされつつある本物の技や先人の残した知恵や文化を共に学び、伝えて行きたいと思うようになりました。



児嶋地区のハロには鯉のぼりのふき流しのようにジーンズが飾られています。

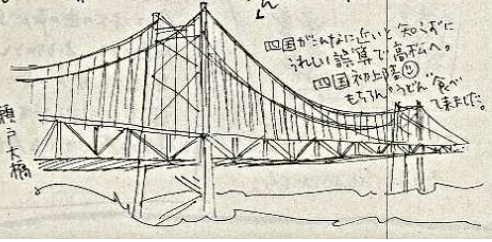
7/9、10、11の3日間倉敷の近くにあるジーンズの児嶋地区に行って来ました。
岡山は36年ぶり!!。行くと決めて、最初に学生時代の友人に連絡をとりました。不思議なことに写真だけはず——っとやりとりしていたのです。
彼女の名はTomo。ケイタイの奮きを知らせると、今どきはすごくて、すぐにLINEでつながって、36年の時間はアッ!!という間に埋てしまいました。
学生時代と全く変らずバイクを乗りまわし、マイペースな暮らしぶりは、本当にカッコ良かったです。

会員のみなさまにご紹介出来るように西田の熱い想いで「桃太郎」さんにアタック中です!!

今まで、陶器でもジーンズでも海外モノに目を奪われていたけれど、国産の熱い想いのモノにメロメロです。

その彼女と出掛けた「桃太郎ジーンズ」はじめとこも当らずさわらずでとてもはきやすいのです。
スエットのイッピンで見たらそうでも気に入らなかったら、もう一度ほどいて縫い直すでない!!シターちゃん」と縫製をしている60代の仲良しさんが言ってた通りでした。
2年間そのままはき込んで出来る"アタリ"(自分のシワ)を楽しみに創り上げて行こう!!と一本購入しました。
買った時がスタートは、久留米絣と一緒。

"こんな高いジーンズやから、少しでも長くはかなアカンで"



四国がこんなに近いと知らずに、これも誤算で高松へ。
四国初上陸!!うどん"食べてきました。

Shop西田
959-2021
阿賀野市中央町2-10-16
Tel.0250-62-2293
Fax.0250-62-3266
自宅
950-0916
新潟市中央区東山1-3-26
Tel.Fax 025-246-9315
発行:西田令子